学校だより

平成２６年９月号
（９月５日発行）
目黒区立第十一中学校

本校スローガン『明るく　元気で　前向きに』

サマースクールが終了しました。

本校の大きな特色の一つであるサマースクールが終了しました。今回は最終日が防災訓練として、避難訓練、一斉下校、宿泊訓練等を行いました。男子は格技室で、女子は教室で教員や保護者見守りの中、宿泊をしました。それでは順を追ってサマースクール４日間（４日半？）を振り返ってみます。

（第１日目）

・**１年生：情報モラル**・・『あなたは携帯電話やインターネットのモラルやマナーを知っていますか？人に迷惑をかけたり危険な目にあったりしていませんか？情報モラル：マナーを教えていただきます。』という内容で教育委員会ＩＣＴ支援員の方に講義をしていただきました。ＬＩＮＥ等のＳＮＳは大変便利な機能ではあるが、使い方を間違えたり、やってはいけないことをすると、どういう被害に遭うのか、また被害にあったらどうするかはもちろんですが、被害に遭わないためには携帯やパソコンをどう使ったらいいのかという本質的なことを教えてくださいました。『携帯電話は電話機能がついたコンピューターである』ということは以前から言われています。携帯電話が中学生にも相当普及している今、机上ではない、実際の話として生徒は聞き入っていました。

・**２年生：アフリカ音楽**・・毎年、十一中のために来てくださっています。ジャンベという西アフリカの楽器を使って音楽に踊りに楽しい時を過ごしました。全員参加型でジャンベという太鼓のような楽器をとおして人との関わり合い、コミュニケーションをとるための楽しい授業でした。一人ひとりが最初は恥ずかしがっていたのですが、少しずつですが、打ち解けて最後は大合唱、大合奏。音楽は人と人とを結んでくれるものであると思いました。

・**３年生：ケーキ作り**・・有名なケーキ店のパティシエさんにお越しいただき、簡単なケーキ作りを学びました。粉をといて、フライパンで焼きながら、クレープ生地を作り、生クリーム、粉砂糖やチョコレート、そしてブルーベリーをのせて自分なりのデコレーションを施したものを試食するというものです。パティシエさんが作ったものとはうーん？少し差がありましたが、味はおいしかったです。満足した顔が調理室に満ちていました。

（第２日目）

・**１年生：手話講座**・・手話をとおしてコミュニケーションを図ります。笑いながら聞く授業ではもちろんありませんが、陽気にわかりやすく教えてくださいました。

・**２年生：ケーキ作り**・・３年生と同じです。こちらも同じように工夫をして作っていました。楽しそうでしたし、おいしそうでした。

・**３年生：受験マナー講座**・・受験に関しての心構え、面接時のテクニックではなくマナーを東京都の私立高等学校の校長先生に教えていただきました。試験前に休んで家で勉強をしたり、学校の授業をおろそかにすることはもっともいけないことであると、そういった普段の姿勢が面接にもでるから、普段の生活を大切にするよう、友人との学校生活を大切にするようお話がありました。（裏面へ続く）

９月１７日（水）から１９日（金）まで前期期末考査が行われます。その準備として**９月１３日（土）**に**土曜補習教室**を行います。９月１日付で土曜補習教室参加のお知らせを配布いたしましたので、そちらをご覧ください。試験前にわからないところをまとめて聞く良いチャンスです。

（第３日目）
・**全学年：人工心臓制作に携わって**・・人工心臓の制作に携わった先生をお呼びしました。さまざまな試作品・原型を世に送り出している方です。ものづくりにかける情熱、発想を形にする仕事についてお話をうかがいました。今年で本校３回目の講義をされると言うことですが、いつも内容が新しくなって楽しいお話がうかがえます。様々なプロトタイプの制作で忙しい毎日を送られているまさに『夢に向かって』生きていらっしゃるんだなと思いました。この次にきていただくときにも、また新しい制作のお話をうかがえるかなと思っております。ありがとうございました。

（第４日目）
・**全学年：避難、防災訓練、集団下校訓練**・・天候の悪い中、場所の予定を変更して３年生は体育館で行いました。３年生は倒壊家屋からの救出訓練及び、その場にあるものや、人間だけでけが人を搬送できる方法を学びました。力をできるだけつかわずに人を救助する方法でした。２年生は屋内消火栓を使って本格的な消火ホースと消火ボンベを使っての消火訓練でした。ホースは中学生ひとりでは飛ばされてしまうくらいで、皆腰を落として真剣にプールに向かって放水をしていました。１年生は格技室でＡＥＤの操作方法、それに靴下や布きれで三角巾を作るやり方などを学びました。
　さらに『地域の一員』としてのそれぞれの働きを学びました。災害時、中学生は実際にどんな役割をはたすことができるか？まさに地域は中学生は救護される側ではなく、救出する側として見られているといったお話を目黒消防署大岡山出張所長様からも講評をいただいたときにお話のなかにありました。まさに『地域の一員』として認められています。それを真摯に受け止めた行動ができました。また最後に地域の方々と集団下校訓練ができました。地域の方々は雨の中、わざわざ待っていてくださいました。ありがとうございました。

（第４日目夕方から第５日目朝）
・**１，２年生と３年生希望者：宿泊訓練**・・１７：００格技室集合で宿泊訓練ははじまりました。学校にいるときに災害が発生して宿泊しなければいけないときを想定して、昼間の避難所運営訓練を併せて行いました。学校長から宿泊訓練の意義、そして、講師をお招きして、３．１１のあとの東北のボランティアとして訪れ、元々の故郷であるる被災地を目の当たりにし、復興が遅れていることを感じて毎年何度もボランティアとして訪れていらっしゃることをスライドを交えてお話しいただきました。もともとはお話をすることをご職業とされていることから、被災された方々の文章や詩を我々に伝える『語り部』としての仕事もしていらっしゃるということで、すばらしい朗読や、体験談に言葉では表すことができない感動につつまれました。「言葉にならない」気持ちが格技室にいる全員が味わったことと思います。ありがとうございました。

（まとめ）４，５日間、普通授業をカットして行っている本校独自の教育事業である「サマースクール」も今年で７年目です。学校長の発案で「生き方学習：困難が起こったときに困難の中で皆で助け合い、生きていく力を養う」ことが徐々に生徒たちに定着し、そして卒業していきます。そんな生徒や卒業生たちが、まさに『地域の一員』として役立てる、そんな人間作り教育の４．５日でした。講師の先生方をはじめ、地域の皆様、親師会、MEPAT の皆様、ご協力ありがとうございました。